

犀川

～感動する心
つなげる心
やり抜く心～

令和6年4月15日
校長 堀金 猛
安曇野市立明科中学校



令和6年度が始まりました



前夜の豪雨が上がった薄曇りの中、新1年生51名、職員9名を迎え、落ち着いた雰囲気の中で明科中学校の令和6年度がスタートしました。

ここでは、始業式での堀金猛新校長の講話を一部要約して紹介します。

今日から、72日の1学期が始まります。

1学期のスタートに当たり、明科中の生徒に常に大事にして欲しいことをお話しします。それは、

「見えないもの見ようとする生徒になってほしい」

ということです。

光があたらずに、痩せて育った一本の麦をイメージしてください。その麦の細かい髭のような小さな根毛を含めて根をすべてつなげると、どのくらいの長さになると思いますか。ある研究によると、東はロシアの端から西のヨーロッパまで、ユーラシア大陸の長さくらいになるそうです。地中での自然の営みのすごさを感じます。私たちには、痩せた麦の穂しか見えませんが、見えない地中ではこんなにも豊かな営みが行われています。農家の方は、立派に育てようと、見えないもの＝根の様子を上の部分から想像し、適切な水や肥料を与えていきます。そうやって麦は育ちます。

同じように、人の心の根毛のような繊細な部分は見えません。それを掘ってみようとすることはできないですし、掘り返すのはよくないことも、皆さんは分かっていると思います。しかし、自分の目で見えるもの、自分の「こんな人だ」という相手についての捉えだけでなく、例えば自分以外の人の姿やものを見たり、その人の見えない思いを考えたり、今まで見ていたものの意味を考え直したりすることで、地下で起きている麦の根の営みのように、自分自身や相手の心の営みも豊かになります。「見えないものを見ようとする心」「感じようとする心」をもつ生徒になってもらうことを期待します。そうすることで、不安に思っている勉強や仲間との関わり、トラブルに対する解決の糸口が見えてくると思います。

伝統ある66年目の本校の一員として、本校の学校教育目標「感動する心」「つなげる心」「やり抜く心」を育めるよう、ともに頑張りましょう。

入学式の日のスナップ



令和6年度明科中学校のグランドデザインです

令和6年度 安曇野市立明科中学校グランドデザイン

○第4次長野県教育振興基本計画
【長野県教育が目指す姿】
「個人と社会のウェルビーイングの実現」
～一人ひとりの「好き」や「楽しい」、
「なぜ」をとことん追求できる
「探究県」長野の学び～

○本校生徒の姿
・誠実さを持ち周囲に配慮した行動ができる
・「明科中学校人権憲章」を意識した生活をしている
・自分の興味・関心事を夢中で探究する力を培いたい

学校目標

『感動する心 つなげる心 やり抜く心』

○安曇野市教育理念
からだを動かし、頭で考え、心に感ずる
『未来を拓くたくましい安曇野の子ども』

明科地区小中一貫教育が目指す子どもの姿 『明るく ゆたかに いきる 子ども』

「ふるさと明科」での義務教育を終える子どもに期待する姿
◇多様性を受け入れ、協働する喜びを知る15歳 ◇自分らしさを認め、未来の自分に期待する15歳
◇運動に親しみ、健やかな心と身体を育む15歳 ◇ふるさと明科の自然・歴史・文化・ひとを愛する15歳

目指す学校像 『生徒の「なりたい自分」への追求を支える学校』 『生徒の自己肯定感を高める学校』

「学校づくりの土台」(人権尊重)と、具現に向けた教育活動の「4つの柱」

☆ 学び ☆
多様な他者との
協働・探究的な学びを通した
学力・生きる力の定着

- 1 学習課題に夢中で取り組む探究的な授業の展開
- 2 グループ学習を中心とした協働的な学びの場づくり
【少人数学習の導入 2年:英語】
- 3 キャリア学習を中心とした「ふるさと明科」の
「ひと・もの・こと」からの学びの充実
- 4 過去を学び、グローバルな視野で未来を描く平和学習
- 5 ICTを活用した協働的な学びと個別最適な学び
- 6 朝の10分間読書の積み重ね
- 7 家庭学習充実に向けた個別の支援

☆ 清掃 ☆
「学びの場」を
自ら整える心身の醸成と
教育環境美化への取組

- 1 環境美化委員会を中心とした
「無言」「気づき」を大切にした清掃活動
- 2 師弟同業・熱動流汗の清掃活動の積み重ね
- 3 生徒会の「明科キレイに隊」活動を通した
地域美化活動への取組

☆ 歌声 ☆
歌声が響き合い
合唱を通して心つながる
学校(学級)づくり

- 1 「自分を解放する歌声」づくり
- 2 「共に創ったハーモニー」に喜ぶ感動体験
- 3 学級、学年での継続した合唱への取組
- 4 生活文化委員会を中心とした音楽集會

☆ 挨拶 ☆
清々しい挨拶を通して
互いを認め合える
人間関係づくり

- 1 仲間・地域・学校職員と
心が通い合う挨拶の励行
- 2 挨拶を通して育む「相手意識」
- 3 教師が率先して行う挨拶が生む、
心と心の通い合い

○ 学校づくりの土台 『明科中学校人権憲章』を基本とした学校づくり
・一人ひとりがお互いを尊重し合う学校 ・一人ひとりが自分らしさを発揮できる学校 ・一人ひとりが大切にされる学校 ・一人ひとりが安心して生活できる学校

- 評価指標 学校評価生徒アンケートを指標とする 4段階評価(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」)で実施
- ① 授業で自分の考えを進んで発表し意欲的に学習できたか 「そう思う」35%以上 (R5:25%)
 - ② 清掃に集中して取り組めたか 「そう思う」50%以上 (R5:46%)
 - ③ 合唱に意欲的に取り組めたか 「そう思う」70%以上 (R5:65%)
 - ④ 友達や先生、来客者、地域の方への挨拶ができたか 「そう思う」65%以上 (R5:62%)
 - ⑤ 友達と仲良く、充実した楽しい学校生活が送れたか 「そう思う」80%以上 (R5:77%)

朝部活の自主練習を見守ってくださる方(巡回員)を募集しています

現在安曇野市の中学校では、原則朝の部活動は実施しておらず、明科中学校では火、木、金曜日の7:30～8:00の間、生徒が自主的に練習をしています。その際各部を巡回し、見守ってくださる方を募集しております。火、木、金の全部でなくても結構ですので、ご協力いただける方がいらっしゃいましたら、明科中学校 教頭(0263-62-2133)までご連絡ください。ほんのわずかですが、安曇野市より謝礼金も出ます。

(文:教頭 山口 敬之)